

- 問1 東南アジア諸国連合（ASEAN）が域内の経済成長を促すために行っている取り組みや、その特徴について正しく述べているものはどれですか。（2026年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 加盟国全体で共通の通貨を導入し、域内の金融政策を一つの銀行に統合している。 | 2. 食料自給率の向上を唯一の目的として、加盟国間での農産物の輸出入を制限している。 | 3. 日本や中国、アメリカといった太平洋を取り囲む多くの国々を含めた自由貿易圏を構築している。 | 4. 域内の関税を原則として撤廃することで、貿易を活発にし、国際的な競争力を高めようとしている。 |
|--|--|---|--|
- 問2 世界各国の国内総生産（GDP）と輸出額の関係を示した資料において、中国の位置付けを説明したものとして正しいものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 輸出額はASEAN諸国の合計よりも少ないが、広大な国土により国内総生産は世界最大である。 | 2. 国内総生産は世界第2位であるが、輸出額に関しては新興国の中位レベルにとどまっている。 | 3. 国内総生産はアメリカ合衆国に次ぐ規模であり、輸出額も世界トップクラスである。 | 4. 国内総生産は日本やドイツを下回っているが、輸出額のみ突出して世界第1位である。 |
|---|---|---|--|
- 問3 ドバイが石油資源に依存した経済構造から脱却するために進めている、都市開発や経済政策の背景として最も適切なものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 将来的な石油資源の枯渇を見据え、金融、物流、観光などの産業を多角化することで持続的な成長を目指している。 | 2. 石油輸出の停止を決定し、その代替として太陽光発電による電力輸出のみで国家予算をすべて賄う計画を立てている。 | 3. 国内の食料自給率を100%にするため、石油による利益のすべてを砂漠の完全緑化と農用地の拡大のみに投入している。 | 4. 外国企業の参入を厳しく制限し、伝統的な真珠養殖業を再び国の基幹産業として復活させる鎖国的な経済政策を採っている。 |
|---|--|--|---|
- 問4 アジアに位置する広大な国であるインドが、近年「BRICS」の一員として世界的に注目されている理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 1970年代から「漢江の奇跡」と呼ばれる急速な工業化を成し遂げ、いち早く先進国の仲間入りを果たしたため。 | 2. 東南アジア諸国連合（ASEAN）のリーダーとして、域内の自由貿易を主導し経済圏を拡大させているため。 | 3. 広大な国土と膨大な人口を背景に、豊富な資源や労働力を活かして急速な経済成長を遂げているため。 | 4. 国土は非常に狭いものの、中継貿易と高度な金融サービスによって、アジアで最も高い所得水準を実現したため。 |
|---|---|---|--|
- 問5 東南アジアのタイという国において、人々の生活様式や伝統行事、建造物などの文化的な基盤となっており、国民の大部分が信仰している宗教として最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-------|-----------|----------|
| 1. イスラム教 | 2. 仏教 | 3. ヒンドゥー教 | 4. キリスト教 |
|----------|-------|-----------|----------|
- 問6 インドは近年、世界有数の国内総生産（GDP）を誇る経済大国となりましたが、1人あたりの国内総生産を計算すると、他の主要経済国に比べて低い数値にとどまっています。このように、国の経済規模は大きいのに、1人あたりの数値が低くなる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 経済成長が1980年代で止まっており、2000年代以降は国内総生産が減少し続けているから | 2. 輸出の大部分をコーヒー豆やカカオなどの特定の農産物に依存するモノカルチャー経済だから | 3. 分母となる総人口が極めて多いため、国民1人に行き渡る経済的豊かさが統計上小さくなるから | 4. 国内に石油や鉄鉱石などの天然資源が全く存在せず、すべての原材料を輸入に頼っているから |
|---|---|--|---|
- 問7 東南アジア諸国のうち、インドネシアなどの資源産出国の輸出構造について、1980年と2015年の統計情報を比較した記述として正しいものはどれですか。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 自動車の生産と輸出が急増した結果、農産物や鉱産資源の輸出割合がほぼゼロになり、完全な工業化を達成した。 | 2. 天然ガスの輸出割合が約半分を占めるなど資源輸出の重要性は残るが、機械類などの工業製品の割合も着実に高まっている。 | 3. 輸出総額に占める工業製品の割合が低下し、代わりに小麦や大豆などの農産物が輸出の大部分を占めるようになった。 | 4. 石油の輸出割合が輸出総額の半分以上を占めるようになり、資源エネルギーへの依存度が1980年当時よりも極めて高くなった。 |
|--|---|--|--|
- 問8 ユーラシア大陸の東部から南部にかけて広がるアジア州において、南側に位置し、標高8000mを超える高峰が連なる世界最高峰の山脈の名称を選びなさい。（2016年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. ヒマラヤ山脈 | 2. アルプス山脈 | 3. アパラチア山脈 | 4. アンデス山脈 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
- 問9 2014年時点の統計において、携帯電話の契約数が約45億件という突出した数値を示し、ヨーロッパ、北アメリカ、およびその他の地域の合計を上回る規模に達している地域として、正しいものを選択してください。（2016年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|----------|---------|
| 1. アジア | 2. ヨーロッパ | 3. 北アメリカ | 4. アフリカ |
|--------|----------|----------|---------|
- 問10 1967年に結成され、現在東南アジアの10か国が加盟している、地域の経済成長や平和・安定の促進を目的とした国際組織の名称を次の中から選びなさい。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-------------|---------------------|
| 1. アジア太平洋経済協力会議（APEC） | 2. 南米南部共同市場（MERCOSUR） | 3. 欧州連合（EU） | 4. 東南アジア諸国連合（ASEAN） |
|-----------------------|-----------------------|-------------|---------------------|
- 問11 タイのチャオブラヤ川下流域やベトナムのメコン川デルタ地帯では、米の二期作が盛んに行われています。これらの地域で二期作を可能にしている、自然環境と社会基盤の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2024年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 四季の変化に伴う明確な寒暖差、梅雨による長雨、および化学肥料の大量投入 | 2. 乾燥した気候、地下水路による水の確保、および大規模な農業機械の導入 | 3. 標高の高さによる涼やかな気候、緩やかな傾斜地、および棚田の造成 | 4. 年間を通じた高い気温、季節風による豊富な降水量、およびかんがい施設の整備 |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|---|
- 問12 日本、アメリカ、中国、オーストラリアなど、太平洋を取り囲む国や地域が参加し、貿易の自由化や経済的な連携を強めることを目的とした枠組みの略称はどれか。（2016年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|----------|--------|
| 1. ASEAN | 2. APEC | 3. NAFTA | 4. TPP |
|----------|---------|----------|--------|
- 問13 アラビア半島を中心とする西アジアの国々では、石油の輸出によって得られた豊富な資金をどのような分野に投資して、国づくりの近代化を進めていますか。その特徴として適切なものを選択してください。（2018年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 寒冷な気候を克服するための大規模な温室栽培施設と、重工業地帯の整備 | 2. 海水を真水に変える海水淡水化施設の建設や、砂漠での近代的な都市開発 | 3. 天然ゴムや木材などの一次産品を加工するための大規模な木材コンビナートの建設 | 4. 情報技術（IT）産業を振興するためのコールセンターの全国的な設置 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 域内の関税を原則として撤廃することで、貿易を活発にし、国際的な競争力を高めようとしている。	ASEAN自由貿易地域（AFTA）などを通じて、加盟国間での関税を取り払い、一つの大きな市場として経済を活性化させる動きが進んでいます。共通通貨の導入は欧州連合（EU）の特徴であり、太平洋を取り囲む広域的な枠組みはアジア太平洋経済協力（APEC）などが該当するため、混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 3 国内総生産はアメリカ合衆国に次ぐ規模であり、輸出額も世界トップクラスである。	2018年時点の経済統計を見ると、中国の国内総生産は日本を大きく上回り、世界第1位のアメリカ合衆国に次ぐ規模に達しています。また、工業化の進展により輸出額も非常に大きく、統計上でも巨大な経済規模と高い輸出能力を兼ね備えた経済大国としてプロットされます。かつてのアジアにおける日本の経済的優位性と比較されることも多い重要な知識です。
問3	答え 1 将来的な石油資源の枯渇を見据え、金融、物流、観光などの産業を多角化することで持続的な成長を目指している。	西アジアの産油国では、石油資源が有限であることや脱炭素社会への移行を考慮し、産業の多様化が急務となっています。ドバイは特にその動きが早く、中東のハブ空港としての機能強化や、外資を誘致するための経済自由区域（フリーゾーン）の設置、世界的な観光地の形成などにより、石油に頼らない経済基盤を確立しようとしています。
問4	答え 3 広大な国土と膨大な人口を背景に、豊富な資源や労働力を活かして急速な経済成長を遂げているため。	膨大な人口は、巨大な消費市場としての魅力だけでなく、経済を支える豊富な労働力としての側面も持っています。資源の保有量も多く、21世紀に入ってから経済成長のスピードが非常に速いことから、新興経済国の中でも中心的な役割を期待されています。
問5	答え 2 仏教	タイは東南アジアの中でも特に仏教が深く根付いている国として知られています。国民の9割以上が仏教徒であり、男子が一生に一度は出家する習慣があるなど、宗教が人々の生活習慣や価値観の根底をなしています。一方、同じ東南アジアでもインドネシアやマレーシアではイスラム教、フィリピンではキリスト教を信仰する人が多いという違いがあります。
問6	答え 3 分母となる総人口が極めて多いため、国民1人に行き渡る経済的豊かさが統計上小さくなるから	1人あたりの国内総生産（GDP）は、国全体のGDPを総人口で割ることで算出されます。インドは世界最大級の人口を抱えているため、国全体の経済規模がどれほど大きくても、1人あたりの数値は低く算出される傾向にあります。これは、急速な近代化が進む一方で、農村部を中心に依然として多くの人口が生活しているという、新興国特有の課題を反映しています。モノカルチャー経済の説明はアフリカやラテンアメリカの一部の国に当てはまるものであり、インドの現状とは異なります。
問7	答え 2 天然ガスの輸出割合が約半分を占めるなど資源輸出の重要性は残るが、機械類などの工業製品の割合も着実に高まっている。	インドネシアやマレーシアなどの国々では、石油や天然ガスといった鉱産資源が依然として経済の重要な柱となっています。統計上、天然ガスの輸出割合が高い水準を維持しているケースも見られますが、並行して電気機器や輸送機械などの工業製品の輸出割合も拡大しており、産業の多角化が進んでいることがわかります。一方で、石油の輸出割合については、国内需要の増加や産出量の変化により、1980年当時と比較すると総額に占める割合は低下し、半分以下となっているのが一般的です。
問8	答え 1 ヒマラヤ山脈	アジア州（ユーラシア大陸の東・南部）の南縁に位置するこの山脈は、世界最高峰のエベレスト（チョモランマ）を擁します。その標高の高さから、北側に広がるチベット高原とともに「世界の屋根」と称されることもあります。
問9	答え 1 アジア	アジア地域は世界最大の人口を抱えており、経済発展とともに通信インフラの整備が急速に進みました。2014年のデータでは、アジアの携帯電話契約数は他の主要地域をすべて合わせた数よりも多くなっており、世界最大の市場となっています。
問10	答え 4 東南アジア諸国連合（ASEAN）	タイのバンコクで設立が宣言されたこの組織は、当初は冷戦下の安全保障が主な関心事でしたが、現在は経済、社会、文化の発展を目的として活動しています。ベトナムやミャンマーなどが相次いで加盟したことで、現在は東ティモールを除く東南アジアの全10か国が加盟する組織となりました。
問11	答え 4 年間を通じた高い気温、季節風による豊富な降水量、およびかんがい施設の整備	二期作を行うためには、作物の生育に適した高い気温が1年を通じて維持されていることや、季節風（モンスーン）の影響による豊富な雨、そして乾季でも農業用水を確保するためのかんがい施設の整備といった条件が必要です。東南アジアの低地ではこれらの条件が揃っているため、高い生産性を実現しています。
問12	答え 2 APEC	「Asia-Pacific Economic Cooperation」の略称であり、アジア太平洋地域の持続的な経済発展を目的としています。この枠組みには、日本やアメリカ、中国、ロシア、オーストラリアなど、太平洋沿岸の多くの国や地域が参加しています。ASEAN（東南アジア諸国連合）と混同しやすいですが、より広範囲な太平洋周辺国を含む点が特徴です。
問13	答え 2 海水を真水に変える海水淡水化施設の建設や、砂漠での近代的な都市開発	西アジア諸国は世界最大級の石油の埋蔵量・生産量を誇り、その輸出収益を背景に急速な近代化を遂げました。降水量が少なく水資源が乏しいという自然環境を克服するため、石油収益を用いて海水淡水化技術へ投資し、生活用水を確保しながら砂漠地帯に近代的な都市を建設しています。